

# 生活

✉ seikatsu@asahi.com

## unnecessary 農薬散布にNO

### 市民団体 基礎知識などまとめ小冊子

市民団体「反農薬東京グループ」(事務局・東京都

西東京市)が、身の回りから unnecessary 農薬散布をなくすための基礎知識や解説を

載せた小冊子「写真」を出した。

「東京グループ」は、農薬など化学物質の乱用に警鐘を鳴らす活動をしている。小冊子では、カーデニ

ングで使う薬品も農薬と同じ成分が含まれるなど、一般の人にあまり知られていない情報について、Q&A形式で説明。周囲で行われ

た農薬散布で苦しむ人の例を紹介している。

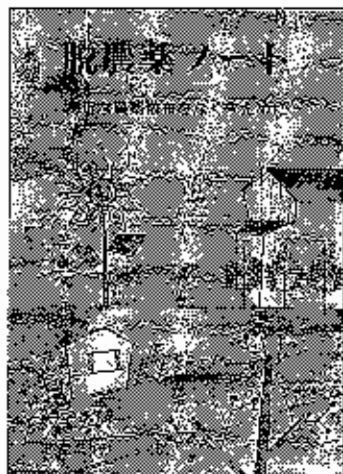
農薬による健康被害を防ぐため、農水省は08年に通知を出し、住宅地などでは農薬の使用を減らし、使う

時も十分配慮するよう農薬使用者に求めた。さらに07年1月には環境省と連名で通知の改訂版を出した。小冊子ではこの内容を詳しく

紹介、身近で理不尽に農薬散布をされたら、通知を活用してどう行動するとよいかを示している。

ただ、公園など行政による散布には比較的対処しやすいものの、通知には罰則がないため、農地や庭など個人の散布を中止させるのは難しいという限界があることも指摘している。

「農薬は農地に限らず使われている。普段、農薬問題に関心がない人にもぜひ読んでほしい」と同グループの代表、辻方千子さん。小冊子の題名は「脱農薬ノート 身近な農薬散布をなくすために」。1部700円(送料120円)。問い合わせは同グループ(電話とファクス共に042・463・3027、メール mtsuji@jcom.home.ne.jp)。



「脱農薬ノート 身近な農薬散布をなくすために」。1部700円(送料120円)。問い合わせは同グループ(電話とファクス共に042・463・3027、メール mtsuji@jcom.home.ne.jp)。